

第3回宇都宮市上下水道事業懇話会 議事録

■ 日 時

令和2年2月19日（水） 午後2時～午後4時

■ 会 場

宇都宮市上下水道局 5階会議室

■ 出席者

- ・ 委 員：太田正委員，齊木真理子委員，櫻井誠委員，神宮祥臣委員，野澤克子委員，三宅徹治委員，山岡暁委員（50音順）
- ・ 局 側：上下水道事業管理者，経営担当次長，技術担当次長，経営企画課長，経営担当主幹，企業総務課長，サービスセンター所長，工事受付センター所長，水道管理課長，水道建設課長，下水道管理課長，下水道建設課長，生活排水課長，技術監理室長，事務局職員

■ 傍聴者数

3名（いずれも記者）

■ 会議経過

1 開 会

2 懇 話

- (1) 令和元年 台風19号を踏まえた今後の対応について
事務局より，資料に基づき説明

F 委 員： 台風19号のような災害が発生すると，ポンプや制御盤等は動かなくなることが多いと思うが，電気機械の設置場所の変更は検討しないのか。

事 務 局： 被災した電気配電盤は，浸水しない高い位置に設置する。汚水ポンプは地下にあり移動できないため，地下への浸水を防止する止水壁を設置する。

E 委 員： 前回の懇話会はちょうど台風19号の直後だった。河内水再生センターを見学した際，下水処理が追い付かず汚水が溢れたらどうするのかと質問したところ，敷地内に溢れさせると回答があった。敷地外に溢れないよう，土手を設置するなど，対策の検討はあるか。

事 務 局： 対策を検討したい。

C 委員： 壁を作るだけでなく、汚水を排出し易いように整備するのはどうか。また、大雨の際には河川からの汚水を田に一時的に貯めることも検討できる。

事務局： 「雨水対策強化推進チーム」を立ち上げ、庁内の組織が横断的に事業を実施できるようにした。そこで策定した「総合治水・雨水対策基本方針」では、「流す」「貯める」「防ぐ・備える」の3つの柱で対策を進めている。その中では、排出量を増やすと下流域の負担となってしまうため、雨水を河川に放流せず流出抑制するよう、田などに一時的に貯めるという方向性を示した。

A 委員： 雨の時は、河川にある程度は流さないと田の土手が壊れてしまう。3月は土手の修繕で費用がかかる。後継者がおらず放置されている田も多く、そこから溢れた雨水が流れてくることもある。

座長： 流域単位での対策はあるか。

事務局： 今回大きな被害があった田川・姿川流域において、河川の拡幅や、市街化区域、市街化調整区域の特性に応じ、公共施設への貯留タンクの設置等、雨水流出抑制の対策を先行するよう講じている。

A 委員： 益子町で稲作をやっているため、車で移動している際、森林が太陽光パネルで覆われ、森林が少なくなっていることを実感している。森林が少なくなると、えさが無いためイノシシが山から下りてくることから、イノシシ対策もしなければならぬ等、様々な弊害が生じている。

座長： 総合的な対策が必要になってきていることを感じる。

E 委員： ①「雨水対策推進チーム」の主体はどこか。②台風19号を機に新たに実施する事業はあるか。③台風19号で他自治体への支援を実施したか。

事務局： ①については、河川課となる。②については、施設で積極的に雨水流出を抑制する等、流域での「貯める」対策や、ハザードマップの強化等の「防ぐ・備える」対策で各種取組があげられる。

事務局： ③については、那須烏山市・栃木市に給水車を発動した。

D 委員： 制御盤は可動式にならないのか。

事務局： 様々な機械と接続があるため、稼働範囲が限られているが、検討したい。

(2) 下河原・川田水再生センターにおける再整備について（報告）

事務局より、資料に基づき説明

F 委員： 下河原水再生センターは合流式ということだが、再整備後、雨水は田川に流し、汚水は川田水再生センターへ流すということか。

事務局： 合流式は汚水と雨水を一つの管に集める方式であるが、雨水と汚水を分

けて処理する方が効率的であるという考え方から、川田水再生センターは分流式を採用している。再整備後の下河原水再生センターにおける雨水と汚水の分け方については、晴れの日には川田水再生センターへ送水し、雨の日には雨水で増加した分を現在の敷地内で簡易的に処理して河川へ流すこととしている。

座 長： 大規模な改修となるのか。

事 務 局： 下河原水再生センターは中継ポンプ場として整備する予定。川田水再生センターは耐震化対策のため一部施設の建て替えが必要であり、現在の敷地では手狭であることから、敷地の一部を拡張し整備する予定。

座 長： 事業期間はどのくらいか。

事 務 局： 概ね20年を予定している。

(3) 宇都宮市上下水道イメージアップ映像の放映について

事務局より、資料に基づき説明

E 委 員： すばらしい映像だと思う。もっと宇都宮市の水道水のおいしさをPRするためにも、東京にウォーターステーションが設定されているように、宇都宮でも設置を検討してもらいたい。

事 務 局： 第1回の懇話会の際にも触れたが、現在設置の検討中である。

F 委 員： 出演者のセリフは全くない。そうめんよりも水が美味しい！等、感想が聞けたら良かったのでは。

A 委 員： 映像だけ見ると何を訴えているのかわかりにくいと思う。

B 委 員： SNSで友人が発信していたため、この映像を知った。身近な人が良いと言ったものは広まりやすいので、地道に拡散していくと良いと思う。

座 長： 製作過程に職員が携わっていることに、とても好感が持てる。

D 委 員： 花火大会等のイベントの際に大型スクリーンで放映すると、一度に多くの人の目に止まるので、効果が出そう。

事 務 局： 現在は工事中だが、オリオンスクエアでの放映も検討している。

C 委 員： SNSで地道に拡散していくべきだと思う。

3 その他

(1) 国際規格の取得について

E 委 員： 1月7日の下野新聞に、那須環境技術センターで県内初の国際規格「ISO17025」認定を取得したとの記事があった。この国際規格を取得すれば、宇都宮市の水道のイメージアップにつながると思う。

事務局：本市では水道GLPを取得しているため、十分であると認識している。

(2) 次回以降の開催について

第4回目以降の開催については、後日改めて書面にてご連絡させていただく。

4 閉 会